



## 4月の「図書館おすすめ絵本」です

4月20日（土）10時30分から11時30分まで、栗盛記念図書館の多目的室を会場に、「春のおはなし会」を開催します。読み聞かせボランティアサークル「おはなしの森」の皆さんが、季節にちなんだ絵本の読み聞かせなどを行います。出入り自由ですのでお気軽にお越しください♪

### ★ 新着絵本 ★

	書名	「のりたいな」		分類	Eノ
	著者	みやまつ ともみ // さく	出版社	福音館書店	
<p>路線バス、郵便車、ゴミ収集車、宅配車、ミキサー車、パトロールカー、キャリアカー、消防車、ダンプカー…。町で見かける“はたらく車”を見開きで紹介する。語りかけるような文も温かな、乗り物絵本。（所蔵：栗盛）</p>					
「愛するあなたへ」	<p>無償の愛は、かけがえないもの。だからこそ大切にし、味わってほしい。「わたしはあなたを愛してる」。シンプルなフレーズに込められた大切な人への無条件の愛を描く心あたたまる絵本。（所蔵：栗盛）</p>				
「くまくんです。」	<p>いつもお母さんに見守られて暮らしてきたくまくん。でも、お母さんと別れるときがやってきました。これからは、食べ物も一人で探さなければなりません。いろいろな動物に出会い、さまざまな経験を少しずつ成長していくくまくんの物語。（所蔵：栗盛）</p>				
「みんなのいえ」	<p>みんなに忘れられ荒れ果てた家に、旅人たちがやってきて、一緒に暮らしはじめます。木を切って屋根をなおし、畑をたがやし、井戸をほり、壁をなおし、椅子を作り…。世界でひとつの「みんなのいえ」を作りあげます。たしろちさとデビュー作を単行本化。（所蔵：栗盛／おおとり号）</p>				
「おねえちゃんていいなあ。」	<p>他の子のお姉ちゃんが妹にお花を摘んであげたり、絵本を読んでもらったりする姿を見ては「おねえちゃんていいなあ…」という気持ちを募らせる女の子。そして、女の子がお母さんにある“おねえちゃん”を試みる…。少女の心の揺らぎと成長を描いた絵本。（所蔵：栗盛）</p>				

### ★ 『はる』の絵本 ★

	書名	「さくららら」		分類	Eサ
	著者	升井 純子 // 文 小寺 卓矢 // 写真	出版社	アリス館	
<p>「わたし さくらです せはひくいけど これでも りっぱなさくらです」。すこしふあんもあるけれど、さくらちゃんはずっくりじゅんじゅんびして、じぶんのいっぽをふみだします…。写真絵本。（所蔵：栗盛）</p>					
「はるがきた」	<p>カレンダーではすぐそこなのに、なかなかこないはる。くらくすむまのひとたちに、おとこのこがいいました。「ぼくたちでまちをはるにしようよ」。すてきなていあんに、こころをはずませるまちのひとたち。そしてみんなをまっていたのは…。（所蔵：栗盛／比内／おおとり号）</p>				
「はるといえば…」	<p>1・2・3歳向けの季節を楽しむ連想えほんシリーズ。はるといえば、さくら。はなびらがひらひら。ひらひらといえば、ちょうちょ。きいろいはねがとつてもきれい。きいろといえば…？連想で次々つながる春の楽しさ。（所蔵：栗盛／花矢）</p>				
「さくら」	<p>花びらが1枚、2枚、3枚…。ふと見上げると、満開のさくら。さくらの可愛さとやさしい文章で、読んであげても読んでもらっても幸せな気分になれる赤ちゃんへの語りかけ絵本。（所蔵：花矢）</p>				
「おはなみバス」	<p>りすさんがバス停で待っていると、おはなみバスがやってきた。運転手はくまさん。「さくらやまにいきますか？」「いきますよ。おのりください」。うさぎさん、ためきさんもお花見弁当を作ったって…。巻末に、行事のミニ解説つき。（所蔵：比内）</p>				